

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 13 日

議 会 議 長 様

議席番号 12 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 高齢者等への 通院タクシーの 補助を	高齢になり、車の運転をやめた方にとって、通院手段の確保は大きな問題である。巡回バスでは不十分であり、また、身内や近所の人がいっても、遠慮してしまい、その間に病気が進行してしまう危険性がある。 既に取り上げられてきたが、その中でも宮代町が行う宮代町高齢者等タクシー助成事業は、令和7年度（4月から1月まで）、10,565件の利用実績があり、一定の効果を上げていると考える。当町でも同様の制度を導入すべきではないのか、改めて伺う。	町長 副町長 高齢介護課長 福祉課長 健康支援課長 担当課長
2. 窓口業務の 時間短縮を	昨年6月定例会でもこの件について取り上げた。 その時は、当時の副町長の「少なくとも埼玉県の半分以上の自治体がもう時間短縮だというぐらいに浸透してくれば、それはそれでやっていくべきかなとも考えております。」という答弁で終えてしまったわけだが、今までに隣の宮代町、幸手市、そして白岡市でも10月より短縮を始めることが公表されている。それに、そもそも半分以上の状況を見てから決めるのは、「新しい杉戸」とは言えない。 さらにラスパイレス指数も低く、庁舎も古い我が町においては職員の待遇改善を図る努力を他の自治体以上に、より一層取り組んでいかなければならないことは明白である。 こうしたことから、窓口開庁時間の短縮は一日も早く取り掛かる必要があると感じるが、町の考えは。	町長 副町長 総務課長 担当課長

8月13日 午後 1時27分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 町長公約の 具体性は	窪田町長は7月の町長選挙において見事に当選された。 町長は、達成できなかった1期目の多くの事業を2期目で達成すると訴えていた。 そこで以下のことを中心に伺う。 (1) 連続性が担保されなかった(1期目に掲げたが2期目に掲げられなかった)政策とその理由は。 (2) 6月定例会で、仮に町長が当選したとして、私が窪田町長の公約の実現について質問したが、あやふやな答えに終始された。2期目のゴールをどことらえているのか。 (3) 町長と私の共通認識であるが、事業をするのには「お金」が必要である。その財源確保策においてもふるさと納税の活用、補助金の獲得に努めるなどと答弁されてきたが、これらは既に取り組んでいることであり、それだけでは賄いきれるわけもなく、納得できる答弁がいまだにない。このことについて町長はどのように考えているのか。 (4) 1期目を振り返ってみての自己採点は。	町長